

庭園いんどりプロジェクト

Ariake Garden Story

— 病院棟5階 屋上庭園物語 —

Vol.3

2022.3



患者さんから寄せられた、
癒し空間へのお便り。

患者さんにとって、屋上庭園とは。 7つのエピソードをご紹介します。

2018年に数多くの皆さまのご助力によりリニューアルした病院棟5階の屋上庭園。四季折々の草花や珍しい植物を見て楽しんでいただくことはもとより、患者さんやご家族にとって心休まる癒しの空間になって欲しいとの強い願いを込めて日々の維持・管理に努めています。治療の合間のリフレッシュ、リハビリのお散歩コース、ご家族との団らん…庭園での過ごし方はさまざまです。

このvol.3では、コロナ禍でご家族との面会もかなわない入院患者さんたちから寄せられた庭園でのエピソードをいくつかご紹介します。

M.Mさん 50代女性

たくさんの人の思いが詰まった庭園に闘病中の私の心がどれほど慰められ、癒されたことでしょう。一つ一つの草花をじっと観察していると、しばし辛さも忘れられます。中でもローズマリーは私の大のお気に入り。ベンチに座ってローズマリーの香りがかぐと、アロマエステの気分になれます。治ったら絶対にアロマエステのお店に行って、ボディトリートメントしてもらいに行こう！なんて思ったり。こんな素敵な屋上庭園を作っていただき、本当にありがとうございます。



M.Nさん 60代女性

術後初めて訪れた屋上庭園でハイバクシンの香りをかいた時に、ああ生きているんだなあ実感しました。その後も訪れる度に木々や草花からエネルギーを貰いました。外気に触れ庭園を歩いたことはスムーズな退院後の生活にも役立っています。美しい庭園を造り、維持して下さっている皆様から感謝いたします。



K.Tさん 50代女性

6月上旬、4回目の入院をしました。毎回、少し落ち着くと屋上庭園を散歩しております。今回も入院から1週間目で先が見えてきたので、ちょっと気持ちも落ち着き、午後の散歩をさせて頂きました。植物は好きですので、何が咲いているか1つずつ、時間はたっぷりあるので一周しました。和花も洋花も咲いており、きっと花が絶えないように植えられているんだろうなと思いました。特に季節の花、紫陽花は普通のものではなく、珍しい咲き方で5種類くらいありました。スマホで写真に撮り、病室に持ち帰らせて頂きました。一昨年入院の際も庭園を歩いたはずなのに全く花の記憶がありません。こんなにいろいろ季節を考えて植えて頂いているのに申し訳なく思いましたが、今回の紫陽花は写真に撮り、心に残りました。ありがとうございました。



M.Kさん 30代女性

手術翌日以外は毎日利用させていただきました。コロナ禍で家族と面会できなかつたり、自由な外出ができなく辛い時もありましたが、お庭がとても有難かったです。特に、術前の断食一週間の間にローズマリーやセージの香りが清々しく、幸せな気持ちになりました。ハーブを植えてくださりありがとうございました。



Mさん 女性

この庭園は、多くの木々草花が組み合わせや色調、形の工夫がなされていて散歩の導線も見える角度や天気によって異なって見え飽きない。数多くのハーブの香りも気持ち良く、庭の写真を友人に送ったところ「そどこなの？素敵な所！今度私も連れてって！」とコメントがあった、けど...残念ながらあまり連れて来たくないかな～あ。



K.Mさん 60代女性

精一杯、気を張っていた心を、庭園の植栽の彩りや香草の香りが優しくほぐしてくれました。日々訪れることが本当に楽しみでした。ありがとうございます。皆さんにこれからも優しさが届きますように。



Y.Nさん 50代女性

明日は手術。入院後にふと立ち寄った屋上庭園でマスクを通してふんわりといい香りに包まれました。庭園の一角に咲き残っていたラベンダーでした。ふっと心が穏やかになりリラックスすることができました。この病院でよかったと感じました。



Message

ひとの心と身体力を高める場所でありたい

病院は、病気の治療や症状緩和をおこなうことによって、患者さんがより良く生活できるようになるための場所です。

とはいえ、実際にそれらをかなえていくのはその人自身の心と身体力です。患者さんの持つこれらの力が、より高まるように、より上手くはたらくようにと私たちががん研スタッフはいつも考えています。

たくさんの方々からのご寄付と、私たちと想いを共有してくださる庭師さんの技術によって整えられているこの庭園が、患者さんはじめあらゆる人々の心と身体力を引きだしてくれる大事な場所であり続けよう。



看護部長 清水 多嘉子

屋上庭園維持のための寄付を募っています。

庭園いんどりプロジェクトでは、皆様からの寄付を募っております。1年を通して季節の花や美しい緑が患者さんやご家族をお迎えする場にしていくためにも、継続的なメンテナンスが必要です。たくさん笑顔にあふれた心休まる癒しの空間を、今後も維持してまいります。ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

寄付の方法などは
こちらをご覧ください

庭園いんどりプロジェクトWebサイト

<https://www.jfcr.or.jp/donation/report/garden.html>



公益財団法人 **がん研究会** 経営本部
JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH 募金課

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31

TEL 03-3570-0512(募金課 直通)

FAX 03-3570-0604

MAIL fund@ml.jfcr.or.jp

WEB <https://www.jfcr.or.jp/donation/>



ご支援のお願い